

7	教育庁	防災教育の充実
事業概要	<p>(1) 防災教育教材の作成</p> <p>ア 防災教育副読本「地震と安全」 地震発生時の児童・生徒の事故防止及び安全確保を図るため、地震に対する知識や地震による災害の理解及び地震発生時の心得等について学ぶ教材として、副読本「地震と安全」を作成・配布</p> <p>イ 防災教育補助教材「3. 11を忘れない」 東日本大震災を踏まえ、まず自分の命を守り、次に身近な人を助け、さらに地域に貢献できる人材を育成する防災教育を一層推進するために、教科等横断的に活用する新たな防災教育補助教材「3. 11を忘れない」を作成・配布</p> <p>(2) 都立高校防災教育推進校の指定、全都立高校における防災教育推進委員会の設置及び一泊二日の宿泊防災訓練を通して、自校の防災と近隣住民の安全を支える高い社会貢献意識と実践力を持つ人間を育成する。</p> <p>ア 定時制・通信制課程を除く全ての都立高校 一つ以上の学年を対象として、教室・体育館等に宿泊し、食事は、学校の非常災害用備蓄食糧(アルファ化米、乾パン等)とする。実施に当たっては、地域公共機関や防災関係機関及び地元小・中学校、自治会や町会、保護者等、地域と連携し、避難所や一時滞在施設、帰宅支援ステーションを想定した訓練を実施する。</p> <p>イ 防災教育推進指定校 生徒による防災活動支援隊の結成、地域の消防署や消防団と連携した消火訓練や講演会の実施、東京消防庁や日本赤十字社東京都支部、防衛省自衛隊東京地方協力本部等と連携した2泊3日宿泊防災訓練の実施、上級救命講習の受講、防災研究施設等における体験学習を実施、防災教育担当教員による被災地の視察、防災教育発表会への参加等の取組を行う。</p>	

<p>これまでの経過</p>	<p>(1) 防災教育教材の作成</p> <p>ア 防災教育副読本「地震と安全」        昭和 48 年から作成し、都内の小学校 3・5 年生、中学校 1 年生、高等学校 1 年生と特別支援学校の当該学年児童・生徒に配布してきたが、東日本大震災を踏まえ、平成 23 年度からは「地震と安全」の配布対象を、全児童・生徒に拡大した。</p> <p>イ 防災教育補助教材「3. 11 を忘れない」        平成 24 年 1 月に防災教育補助教材「3. 11 を忘れない」を作成し、都内公立小学校 5 年生及び中学校 2 年生に配布した。その後、「台風等による風水害、火山の噴火による災害への備え」や「震災時のボランティア活動の紹介」等の教材を新たに掲載した新版を、平成 24 年 12 月に作成・配布した。</p> <p>(2) 平成 24 年度は、都立学校において下記の事業を実施した。</p> <p>ア 一泊二日宿泊防災訓練 全ての都立高等学校 179 校の校内で実施        避難所や一時滞在施設、帰宅支援ステーションを想定した訓練を実施し、近隣小・中学校、高齢者施設、近隣住民、地域等との連携強化を図った。</p> <p>イ 防災教育推進校に 12 校を指定し、東京消防庁消防学校にて 2 泊 3 日の宿泊防災訓練を実施        宿泊訓練についての連携先の開拓（自衛隊(東京地本)との連携を予定)、防災活動支援隊による学校と地域等との連携の強化、災害時支援ボランティア等への加入の更なる促進を図った。</p> <p>ウ 当該学年における宿泊防災訓練の取組の成果を他の学年へ普及</p> <p>※ 平成 24 年度推進校        足立東高等学校、南葛飾高等学校、東高等学校、葛西南高等学校、科学技術高等学校、大崎高等学校、第一商業高等学校、練馬高等学校、農芸高等学校、府中工業高等学校、田無工業高等学校、多摩工業高等学校</p>
<p>現在の進行状況</p>	<p>(1) 防災教育教材の作成</p> <p>ア 防災教育副読本「地震と安全」        平成 25 年度版 防災教育副読本「地震と安全」を作成し、6 月に都内全ての児童・生徒に配布した。発行部数は合計 1,375,200 部。現在、平成 26 年度版「地震と安全」の作成に向け、「地震と安全作成委員会」を設置し、内容の改訂を進めている。</p> <p>イ 防災教育補助教材「3. 11 を忘れない」        平成 25 年 8 月に増刷し、都内公立小学校 5 年生及び中学校 2 年生に配布した。発行部数は合計 220,500 部</p> <p>(2) 平成 25 年度は、都立学校において下記の事業を実施した。</p> <p>ア 一泊二日宿泊防災訓練 全ての都立高等学校 178 校の校内で実施</p> <p>イ 防災教育推進校を 15 校指定し、宿泊訓練連携機関を東京消防庁消防学校、防衛省自衛隊東京地方協力本部、日本赤十字社東京都支部とし 2 泊 3 日の宿泊防災訓練を実施</p> <p>※ 平成 25 年度推進校        足立工業高等学校、六郷工科高等学校、つばさ総合高等学校、八潮高等学校、三宅高等学校、神津高等学校、杉並総合高等学校、農芸高等学校、板橋高等学校、調布南高等学校、八王子北高等学校、府中西高等学校、南平高等学校、田無工業高等学校、久留米西高等学校</p>

今後の見通し	<p>(1) 防災教育教材の作成</p> <p>ア 防災教育副読本「地震と安全」 本教材については、年間を通じて使用するために、年度当初に配布してほしいという要望が学校から寄せられている。そこで、平成 26 年度版「地震と安全」については、配布時期を 1 か月早め、5 月中に配布する。「地震と安全作成委員会」を設置し、内容の改訂を進めていく。配布対象は平成 25 年度と同様である。</p> <p>イ 防災教育補助教材「3. 11 を忘れない」 写真の差し替えなど、部分的な改訂をした上で、平成 26 年 8 月までに配布する。配布対象は平成 25 年度と同様である。</p> <p>(2) 先進的な取組を推進するために、学校が主体的に発展的な内容に取り組む</p> <p>ア 東京消防庁消防学校、防衛省自衛隊東京地方協力本部と連携した二泊三日の宿泊防災訓練の実施</p> <p>イ 日本赤十字社、東京都支部と連携した防災訓練の実施</p> <p>ウ 地域の総合防災訓練への参加</p>		
問い合わせ先	教育庁 指導部 指導企画課 教育庁 指導部 高等学校教育指導課	電話	03-5320-6836 03-5820-6845